

会報

No. 91

平成26(2014)年9月15日

<http://www.library.pref.kyoto.jp/renkyo/renkyo.html>

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9

京都府立図書館内

TEL (075) 762-4655

<目次>

1面

- 綾部市図書館☆読書手帳
「ほんでほんで」は大人気！
(綾部市図書館)

2面

- 平成26年度
京都府図書館等連絡協議会総会
- 3面
- 平成26年度
京都府図書館等連絡協議会事業

4面

- 移転開館15周年を迎えて
(京都市左京図書館)

そんな折、図書館システムを更新することになりました。更新するな

キッカケ②

えられないかと考えていました。しかし、自分で記録を残すのは面倒なこと。なんとか利用者の声に

ある日カウンターの、利用者が「前に借りた本何だったか教えて！」と。図書館としては、「返却本の記録は残らないんです。」と答えるしかありません。

キッカケ①



綾部市図書館☆読書手帳
「ほんでほんで」は大人気！

綾部市図書館 生駒 綾子

らば、利用者にも良かったと実感してほしい、そのためには利用者自身の手軽に読書の記録を残せる方法の実現に向け、作戦開始！

誕生秘話

さっそく、読書通帳をリサーチ。既存のものでは、費用、デザイン、メンテナンス等が合いません。それでは自分たちの手で創ろう！と、専門のシステム会社と共同開発を始めた。

図書館からは内容として図書名・著者・出版社・利用日・評価(五つ星☆☆☆☆付き！)の五欄を提案。シールで打ち出せるようにシステム開発を依頼し、平成二十三年六月に運用を開始しました。

仕組みは…

借りた本の記録をシールに打ち出し、「読書手帳」に貼ることで、読書の記録を自己管理できます。

シールの打ち出しは利用者専用のコンピュータで行い、「かしだし券」のナンバーとインターネット用のパスワードが必要です(インターネット予約をされていない方には図書館でパスワードを用意)。シール打ち出しができるのは、貸出当日のみとなっています。

「読書手帳」は、「かしだし券」をお持ちの方に一冊、希望者に無料で提供しています。「読書手帳」一冊には、本百冊分のシールを貼ることができます。

始めてみると…

一般利用者を対象に始めましたが、子どもたちにも大人気！シールの打ち出し時には「かしだし券」のバーコードをスキャンするので、お店のレジ気分もあり、休日には子どもが年輩の方のお手伝いをする姿も見られ、異世代間の交流の場ともなっています。



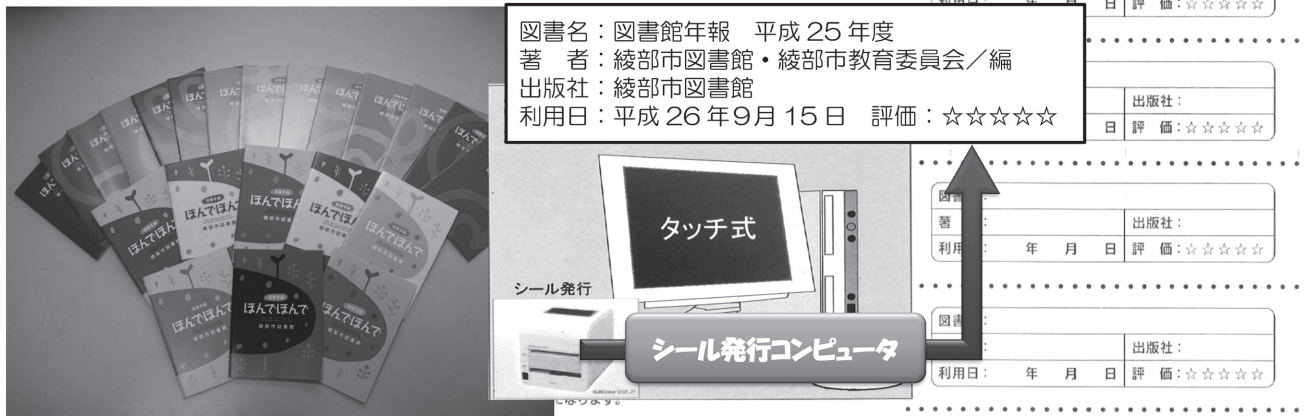
また、シールの打ち出し目的で本を借りるのでは…との心配もありましたが、そんなことは一時的なもので、本当に皆さん楽しく、便利に使っ

読書手帳について

- ・借りた本の記録をシールに打ち出し、「読書手帳」にはることにより、本の記録を自己管理することができます。
- ・シールを打ち出せるのは、貸出日当日、1回のみです。
- ・「読書手帳」は、「かしだし券」をお持ちの方に1冊、無料で提供します。(希望者のみ)
- ・「読書手帳」がいっぱいになった時は、お持ちください。新しい「読書手帳」をお渡しします。
- ・紛失した場合は、1冊30円の実費をお願いします。

＝ お 願 い ＝

- ・シールは感熱紙ですので、熱いところに置かないで下さい。
- ・「読書手帳」は、個人情報を含むものですので、個人の責任において大切に保管してください。万一紛失したり悪用されたりした場合には、当館は一切の責任を負いかねます。



てもらっています。手帳を利用することで、「本を読むことも増えた！」という嬉しい声も届いています。

手帳のデザインは…

「ほんでほんで」(方言のほんでと本をかけたもの)が読書手帳のネーミングに！『あなたのココロから、いつか小さな芽が出て、いっぱい、いっぱい花が咲きますように…』との思いを込めたロゴマークも作り、そのマークが表紙にもできるように工夫し、ページにも花柄模様の透かしを入れました。自分で記入したい方には、シールと同じ内容の記入欄もあり。色・柄違いの二十二種類を用意しています。

心配事…

感熱紙のシールは五年しかもたないとか。子どもの成長の記録として利用されている方も多く、暑いところには置かないように、将来を思うなら、手書きを！とお勧めしています。

忘れてはいけません！

「ほんでほんで」は、個人情報満載の手帳で、取扱いは注意をお願いします。

戦時中のこと。図書館は国の検閲、

統制を受けました。借りた本には、その人なりの思想が反映しています。

私たち図書館員は、「図書館の自由に関する宣言」のもと、読書の自由と利用者のプライバシー保護を念頭に「読書手帳」の普及に努めています。

平成二十六年度

京都府図書館等連絡協議会総会

今年度の定期総会を、平成二十六年四月二十三日、京都府立図書館において開催しました。

開会行事では、大槻会長(京田辺市立中央図書館長)の挨拶に続いて、来賓の岡村国立国会図書館関西館次長及び阿部京都府教育庁指導部社会教育課長から祝辞を、宮野京都府立図書館長から歓迎の挨拶をいただきました。

その後、平成二十六年度・平成二十七年年度の理事が紹介され、議長を選出したのち、加盟館四十九館中出席二十七館・委任状十三館により総会が成立していることを確認し、議事を開始しました。



◆議事内容

以下の全ての議事について、承認されました。平成二十五年度の決算報告に当たっては、監事から監査報告が行われました。

- ・平成二十五年度会務報告
- ・平成二十五年度決算報告
- ・平成二十六年年度監事の選出
- ・平成二十六年年度顧問の委嘱
- ・平成二十六年年度事業計画案
- ・平成二十六年年度予算案

◆功労者(団体)表彰

総会後、府内の図書館等において読み聞かせ等の図書館活動及び読書活動の振興に寄与された次の四団体・四個人を表彰し、永年の活動を称えました。

- ・カンガルーポケット
(代表 前岡 玲子様)
- ・城陽市立寺田西小学校
図書ボランティア「ぼたた」
(代表 嘉住 直子様)
- ・おなはしのこばこ
(代表 播磨 富士子様)
- ・与謝野町立岩滝幼稚園
(園長 千賀 智恵子様)
- ・林川 明子様
(京都市右京中央図書館)
- ・岡部 美樹様
(京都市伏見中央図書館)
- ・堂谷 恵様

(京都市醍醐中央図書館)

- ・加藤 幸子様
(京都市久世ふれあいセンター図書館)

◆情報交換会

府内全域の加盟館の方々が一堂に会する定期総会という機会を活かして、出席者同士がざくばらんに情報交換を行い交流を深めることを目的に、昨年度から定期総会後に情報交換会を実施しています。

今回は、自己紹介に代えて、館の特徴や現在の取組、課題等について各自で記入していただいた資料をあらかじめ全員に配付しました。

五つのグループに分かれての情報交換では、利用者数減への対応、クレーム対応、マニュアルのない事態への対応、雑誌スポンサー制度、ブックスタート制度、職員研修等が話題となりました。

多くの館に共通する課題であることから、活発な情報交換が行われ、今後の交流の一助となりました。

平成二十六年年度

京都府図書館等連絡協議会事業

◆平成二十六年年度事業計画

- ・総会・理事会の開催
- ・研修研究事業の推進
- ・相互協力事業の推進

・広報事業の推進

・読書活動の推進

・関係機関への要望活動の実施

・功労者(団体)の表彰

・京都図書館大会の開催

◆平成二十六年年度研修計画

◎北部会場

平成二十六年十一月二十八日(金)

場所 宮津市福祉センター

講師 中沢 孝之氏
(草津町立図書館)

◎中部会場

平成二十六年十一月二十七日(木)

場所 京都府立図書館

講師 田中 敏氏
(国立国会図書館関西館)

◎南部会場

平成二十六年十二月

場所 久御山町ゆうホール

講師 原田 隆史氏(同志社大学)

内容 「レファレンスに役立つインターネットの活用法(仮)」

「拡張する図書館」国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを中心に」

◆第三回子ども読書本のしおりコンテスト(府教委との共催事業)

◎表彰式

平成二十六年十一月二日(日)

ルビノ京都堀川

◎巡回展示

京都府立図書館からスタートし、

平成二十七年十月まで府内の図書館等を巡回

書館等を巡回

Ⅱ京都府図書館等連絡協議会Ⅱ

京都府図書館等連絡協議会(略称…京図連協)は、京都府立図書館、府内市町村立図書館、公民館図書室や府立総合資料館など、図書館機能を持つ府内の四十九の施設で構成されています。

京図連協は、京都府における図書館事業等の振興及び相互の協力を図ることを目的とする組織で、研修研究事業・相互協力事業・広報事業など、府内一円での図書館サービスの向上に向けた取組を進めています。

また、京都図書館大会の実行委員会に参画しているほか、京都府教育委員会と共催で「子ども読書本のしおりコンテスト」を行うなど、関係機関・団体とも協力しています。



移転開館十五周年を迎えて

京都市左京図書館 井上 孝子

左京図書館は、昭和五十三年六月に京都市社会教育会館左京分館として誕生し、のちに「左京図書館」と名称が変わりました。その頃は、建物は古くて狭くゆっくり閲覧する場所もなかったなど、当時を知っている方々からお聞きます。

平成十一年五月には、老人福祉センター、デイサービスセンター、児童館が入る京都市左京合同福祉センターの新築に伴いその二階に移転開館しました。大きな窓から自然の光が差し込む明るく、木製の書架で統一されたすっきりとした館内になりました。そして、平成二十六年五月に移転開館十五周年を迎え、各施設一丸となって十五周年事業を開催しました。

左京図書館の特徴として、移転開館の計画を契機として設立された図書館友の会「けやき」との協力がありません。新左京図書館を考える会が母体で、地元住民の皆様を中心に、図書館利用者の立場から市民が望む図書館づくりのために活動ご支援

をいただいています。

毎月一回、けやき事務局と図書館とのミーティングを持ち、行事の打ち合わせや情報交換、新しい企画や事業の改善点等について話し合っています。事業への協力だけではなく、利用者の立場から提案や意見をちょうだいすることも多く、本当に心強い応援団として活躍されています。

「左京図書館は、行く度に新しい発見がある！」そう感じてもらえる図書館を目指して、職員一同が日々アイデアを出し合い、即実行で取り組んでいます。

見せる工夫

展示スペースを増やし、面出し展



テーマ展示コーナー

示を多くして目に留まりやすくしたり、なかなか出番のない図書の貸出につながるようテーマをひと捻りして展示本を集めたりしています。また、テーマや季節に合った飾りつけの工夫をしています。

七月からは、あともう一冊借りてもらえるよう、「+1（プラスワン）」コーナーを始めました。

身近な情報を発信

図書館には行政資料やチラシなど多くの情報が集まっていますが、それらをたくさんの人に届けるため、配架場所を増やしました。

子ども・大人向けの行事の充実

けやきの皆様と一緒に、「おたのしみ会」や「図書館で発表会」「大人のための語りを楽しむ会」などを実施しています。

その中でも「図書館で発表会」は、図書館が日々の暮らしの中でこんな役に役立っているということを広め、図書館が身近な存在であることを知ってもらうきっかけになるようにと企画されました。展示物は、「図書館の資料を活用してこんなことを調べました」「こんなことができた」という自由研究の発表であったり、趣味の作品であったりしま

す。図書館は関連図書や実際に参考にされた資料を合わせて展示し、積極的な図書館活用を呼びかけています。



くらしに役立つ行政資料コーナー

身近に図書館があつてよかったと皆様に親しんでもらえる左京図書館であるよう職員一同で取り組んでいます。今後ともよろしく願いいたします。

